

平成24年度 知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会

第1回 関係者会議 平成24年6月14日(木) 世界遺産センター レクチャールーム

発言者	発言内容
	開会・挨拶
環境省	釧路自然環境管理事務所の中山と申します。この取り組みは今年で4年目のなり、検討会を始めてから3年目ということになるようです。ケイマフリという海鳥を主役にウトロ海域に生息する海鳥を観光資源として考えながら、同時にそれを保護し紹介していこうという事業が少しずつ進んできたところでございます。昨年からはウトロ海域部会として行わせて頂いていますが、地域の様々な皆様方に支えられて進んで参りました。皆様方のご協力に改めて感謝させていただきます。この計画は3ヵ年計画ということになってまして、今年は最終年度のまとめの年ということになります。本日は活発な御議論を頂きたいとお願いさせて頂きまして開会のご挨拶とさせて頂きます。
	議題
環境省	・ 本日の議題について説明（環境省） 1.ウトロ海域部会について ～ 経緯および年次計画における今年度の位置付け 2.本年度事業実施計画 1) ウトロ海域海鳥調査計画 2) 利用者動向調査(アンケート調査) 3) 海域状況(海鳥)観察の実施 4) 広報用コンテンツの作成 5) その他 3.その他 意見交換
敷田座長	それでは進行を進めさせていただきます。この事業も3年目となり、最初は非常にわかりづらかったと思いますが、一重に皆さん方の努力のお陰でここまでたどり着きました。先日、知床海鳥研究会の福田さんと知床小型観光船協議会の神尾さんに私どもの北海道大学に来て頂きまして、ケイマフリに関わる取り組みのお話をして頂いて議論をさせて頂いたのですが、事情を知らないお客さんもおりましたけれども、非常にお2人のお話に興味を持って頂きました。この積み上げは非常に先進例に近いと思います。この事業に関われることを非常に幸せだと感じています。今日は3年目に入りましたスタートでありまして、次にどれだけ進められるかという重要なお話が出てくると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。
1.ウトロ海域部会について	
	1.ウトロ海域部会について
環境省	・経緯および年次計画における今年度の位置付け パワーポイント
敷田座長	成果のところ、どうやって協力関係が作れたのかを強調して記載するのが良い。
2.本年度事業実施計画	
	2-1.ウトロ海域海鳥調査計画
	～今年度の海鳥調査計画および、デコイの設置状況についての報告～ ・デコイの設置及びその意味について
環境省	デコイの効果は繁殖地に近づかないことと、観光船が利用者にケイマフリの存在を説明できることの二つの効果があると思います。今年設置したデコイは先日流されてしまったが、現在再設置を考えています。
福田委員	デコイを設置し観光船が近づかないよう協力いただいたお陰で、観察されるつがいの数が去年より2・3ペア増えています。大きな効果が1・2年で出ていることに驚いています。
環境省	福田さんと山本さん(ウトロ漁協)が再設置について進められていると聞いていますが。
ウトロ漁協	そうですね。設置の時期は4月、5月が理想ということですが厳しいです。デコイが流されてしまったが今年のように30年や50年に1回とか、知床には気候が不安定な年もあります。
福田委員	ケイマフリは保守的な生き物で、すぐ生息場所を変えたりできる生き物ではないと思います。最近ケイマフリが岸に近いところで営巣するようになってきたのは観光船に配慮して頂いている結果だと思えます。
小城委員	天売島では繁殖地の近くに海水浴場が出来て人が入るようになり、営巣しなくなった例もあります。ケイマフリは繁殖に関して非常に神経質。観光船が近づかなくなって安全だとわかれば、もっと巣穴は増えていくと思いますね。
敷田座長	観光船側には随分配慮頂いているようですが、具体的に運航へのマイナスは生じていますか？
小型船	運航コースが多少距離をとったからといって、お客さんへの反響に影響はまずないと思います。
敷田座長	ケイマフリに近づいてほしいというリクエストはないですか？
小型船	ケイマフリに関してはないですね。沖合にもケイマフリはいますのでそちらのほうでも説明はできます。

敷田座長	協議会で船のアナウンスは実施した方が良く、という話はして頂いているのでしょうか。
小型船	最初の頃よりケイマフリに関しての知識も増えましたので、お客さんに保護活動を伝えることを推奨しています。
	・今後のデコイの設置のあり方
小型船	設置時期が課題です。繁殖期を考えればこの時期でなければ、というのもあると思うが、今回みたいに失くしてしまうことはこの先もあると思う。4月から設置する意味はわかる。時化の状態でもまめに回収するとか事前しておくとか漁師の人と我々事業者と話し合っとういうふうにしていく。今は気象情報もとりやすいのでどんな状況で回収するのかなどに関して議論していくことが大切だろうと思う。
福田委員	あともう少しデコイの資金があれば良い。構造上根元から千切れてしまうかもしれません。
環境省	あと3体デコイがあるのでやり直すことは可能です。
小型船	いい成果が出ているのでデコイはまた作ればいい。ちゃんと福田さんがデータを出しているのだから予算を出せばいい。
福田委員	繁殖地の目印としてもデコイがあればお客さんにも話しやすいし、落ち着いてケイマフリが見れる空間を作っているのかなと。
小型船	確かに我々からしてもあそこは繁殖に適している気がする。同時に我々の事業としてはお客さんに景観を見せたいという気持ちが強かった。もっと早くから話し合いをしていたら解決していたかもしれない。今になれば我々も話が聞けるようになった。
敷田座長	今、それぞれの方から前向きなお話を頂きました。協力してもう少しデコイの世話の頻度を上げれば、流されるリスクも下げられるということなのですね。
敷田座長	もう少し観光船・漁協で見れば、ということと、あとはデコイが3体では少ないから準備するということでしょうか。
ウトロ漁協	漁師さんをお願いして用意したのですが、今回は土俵をアンカーにしました。
環境省	土俵のデコイは残りましたね。
環境省	アンカーでも大丈夫ですかね。
小型船	いいんじゃないかな。
敷田座長	それは今後も協力がいただけるという前提ですか？
ウトロ漁協	デコイの3つや4つなら。言ってもらえれば、ロープ類はありますから。
環境省	また再設置ご協力お願いします。
敷田座長	今から再設置しても意味があるのですか？
福田委員	呼び寄せるという効果というよりも、浮き目印ですね。去年からケイマフリがいなくなった時期にデコイがあったほうがいいというご意見を頂きました。鳥に影響がなければ置いてあってもいいと思うのです。
環境省	計画当初から繁殖が終わった後は目印を撤去して、観光船が運航する10月まではデコイを残しておくつもりです。
小型船	漁師の人に設置してもらったら予算をつけて頼んだほうがいいのでは。海に携わる者としてケイマフリを保護する意味や協力が必要だということを山本さん1人で伝えることは大変だと思う。山本さんを通じて漁師の人も大事にしているとわかってくれれば保護への見方も変わってくると思う。
敷田座長	山本さん、理事会でこういう話は紹介できませんか？
ウトロ漁協	お願いする場所はなかなか無いと思う。
小型船	漁師の人若い世代になってきて海を大事にして先を思うのであれば、こういう形があってもいいのでは。
敷田座長	今年は環境省にお金を捻出してもらって理事会でお話してもらって参加して頂きたいですね。
敷田座長	漁業関係者の方々にも一緒にやってもらうほうが関心も高められるでしょうし。
ウトロ漁協	組合内に伝えます。
敷田座長	オーロラ号に関しては随分距離があるので厳しいとは思いますが、どうでしょうか？
大型船	場所的に我々の船は離れているので近づけない所です。
敷田座長	直接資源として使うチャンスは小型船に比べて低いですけれども、もしよければデコイの設置や準備にどなたか来て頂けないかと。そうすることで関心を高めていけたら良いと思いますけれども。
大型船	大型船でやれる範囲内であれば、出せる船もありますから。
小型船	無理に船を出さなくてもいいと思う。デコイを確認する時があるじゃないですか？そういう時に我々と相談して声を掛け合っとうとか、そういうことだけでもいいと思う。
敷田座長	同じ事をみんなでやる必要はないと思います。やれることを少しずつやっていくという事が、こういう仕事は効果があると思います。
ウトロ漁協	例えば流されてるのを見たら、すぐ教えてくれるとかね。
大型船	何かあれば、すぐ協力体制は取りたいと思います。
	・ケイマフリの生態調査 調査の必要性和ガイドサービスへの活用
小城委員	オーロラ号の時間は1日のはじめの航海の時間になるのですか？
福田委員	今、岬航路に乗って調査してます。朝10:00出航で1日1便です。

小城委員	1日の行動が見たいですね。本当は24時間やりたいけれども無理ですね。もう少し生態情報の密度を高めないですかね。一日の鳥の日周変化を調べたい。
福田委員	ただ、毎年きっちり同じ条件でやらないとモニタリングにならないと思います。
小城委員	私が言いたいのは繁殖期にケイマフリが雛が育つまでどういう所にいて何をしているのかということなんです。多少仮説が入ってもいいから、そういうライフヒストリーのようなものを作ったらどうかと思うのです。
小城委員	一体彼らは沖で何をやってどういう生活をしているか？ということを観光船などでお客さんに紹介するのに面白いと思うのです。多少仮説が入ってもいいから、これは観光をやっている方のサービスとして有効なんじゃないかと思えますね。
福田委員	調査方法は今まで同様変えるつもりはないですね。オーロラさんのように同じ時間・航路・速度という良い条件で調査できるのはめずらしいし利用させて頂きたい。
中川委員	ケイマフリを色々な環境条件で観察するとすれば、陸上から見れる営巣地があると良いが、なかなか難しい。
福田委員	船で上陸可能だが他の海鳥に影響を与えてしまう。天売島のように岩が多いと観察しやすいのですが、。トークシモイで営巣が復活すると研究観察しやすくなり面白い。それが今後可能だと思います。
	・研究者の現状と将来への課題
敷田座長	今まで話を伺っていてわかったのですが、結局、調査は福田さんがほぼ全てという感じなのですね。調査をなんとかしようということになると、全部福田さんに至ってしまうというか。
環境省	「海域状況(海鳥)観察記録」のところで皆さんに観察して頂こうというのがあるのですが、観光船はたくさん出ているので、ケイマフリが居たという記録がそれによって得られれば生態とまでいかにないにしても情報が集まってくるので面白いのかなと思います。
敷田座長	福田さんしか頼りにする人がいないと、福田さんに何か起きた時盛り上がった話が流れてしまう。後継者育成を考えたほうがよいのでは？
敷田座長	専業ではなく、仕事をお持ちの方にも、お手伝いしてもらおうことを考えていかないと。全て福田さんにかかるということになって何かあったときに、せっかくここまでやってきたのにもったいない。福田さんがいなくなることを前提に考えているわけではないですが、二重三重に考えていかなければいけないと思います。
敷田座長	環境省で担当できる方はいらっしゃいませんか？
環境省	なかなか、そう簡単にはいかないですね。
敷田座長	来年以降の配慮をお願いしたい。引き継いでいく人を常に作っていかないと。ここまで皆さんがやっているのに突然切れたりしたら、がっかりすることが大きいと思います。そういうリスクの管理も必要かと思えます。
	2-2.利用者動向調査(アンケート調査)
環境省	・実施計画の説明 パワーポイント
小型船	大型船はどう配っているのですか？全員には配れないと思うので、希望者だけとかですか？
大型船	基本的に降りてくるお客さんに手渡しで渡します。
小型船	数の制約上、もらえるお客さんともらえないお客さんが出てきます。「あの人だけもらって私はもらっていない」ということになります。
事務局	取ってくれない人も勿論いらっしゃいますが、配布する便の利用者には、すべて配布を行っています。欲しいのに渡せない、というようなことは無いようにしています。
福田委員	「環境省からのお願い」と放送してもらおうと関心を持って取ってくれる。アンケートとしての必要な配布数はあると思いますが、それ以外にもケイマフリの普及という意味で効果が大きかった。オーロラで放送してもらおうと展示されているポスター・デコイへの関心度が全然違います。
敷田座長	出来上がった調査結果を何らかの形で広く公開できないでしょうか？HP上に載せるにしても数字だけを並べるのではなく、もっと加工してですね。ヒグマの情報を得たくてHPに来た人にもケイマフリも見てもらえればと思います。HPの価値も上がるでしょう。
	2-3.海域状況(海鳥)観察の実施
環境省	・実施依頼および観察技術支援(洋上説明会、意見交換会等)の実施計画 パワーポイント
敷田座長	観察記録と観察支援という意味の説明会・観察会のようなものですが大型船・小型船ともということなのでぜひ小型船の皆様にもご協力頂きたいと思えます。
小型船	観察会というのは福田さんの出前講座のようなものでしょうか？
環境省	はい。
小型船	海域観察記録については船長と乗組員2人だけなのでお客さんの管理もあって厳しい。できる限り協力したいと思うが。
敷田座長	それは調査が目的なのですか？それとも解説の伝授が目的ですか？
環境省	ケイマフリがどこにいたかの情報が集められれば分布の基礎情報になると思います。ケイマフリを意識して運航してくれるので観光船利用者・ケイマフリ、双方のためになるはずですよ。
敷田座長	小型船としては説明の仕方などを聞きたいなどの希望はあるのですか？

小型船	ガイドが話すネタにはまだ引き出しがあると思います。説明会で話が聞ける機会が増えるのはとてもいいことだと思います。
敷田座長	説明会などで関心を持ってもらってから、ケイマフリの観察などをやるのが自然だと思いますが、いずれにしてもハイシーズンは無理なので、シーズン以外にそういう機会を作ってもらえるのでしょうか？
中川委員	観光のハイシーズンとケイマフリの繁殖シーズンとの関係もあると思うのですが、ケイマフリ以外の海鳥でもできると思うんです。例えばカモメはみなカモメと一括りになってしまうのですが、例えばミツユビカモメは日本では冬鳥となっていますけれど知床では夏の海にやって来ます。そのほかユリカモメが9月になると渡って来るのですが、東京の人は東京都の鳥に指定されていますので東京の鳥だと思ってる人が多いんです。この鳥が知床に居るとい事を説明するとビックリします。カモメの見分け方って難しい所もあるんですけども、そういったことも覚えていただくと、ケイマフリの繁殖期以外でも、どこにどのシーズンにどんなカモメが居るとい事がわかってくと、随分観察対象の幅が広がっていくと思うんですよね。
小型船	中川先生にも是非”出前講座”をやって欲しいですね。(笑)
敷田座長	中川、福田組でお邪魔するという事でどうでしょうか？御二方は是非。バラエティも広がるしケイマフリにあまり興味のない人にもいいのではないかと思いますね。
福田委員	凄くいいと思います。
小型船	お客さんにオオセグロカモメとかウミネコを説明した後に、ここにはケイマフリという海鳥が居ますということを説明するとテンションが違いますよ。最初からケイマフリだけだったら、そこまでテンションは上がりません。そのあとオジロワシの説明をするとテンションが一番上がるんですけどね。海鳥の中ではこの2種類がかなり観光船的には面白いですね。
中川委員	知床にはたくさんの海鳥がいて、その中に絶滅危惧種のケイマフリという鳥が居る。季節によっても見る事が出来る種類が変わってくる、その多様性みたいなものを解ってもらおうというのが、一番魅力を伝えられるかもしれないですね。
小型船	そうですね。一つの種類だけというよりも、お客さんには海鳥を全体的に説明してあげた方が面白いと思いますね。
2-4.広報用コンテンツの作成	
事務局	・ホームページの公開について HP印刷資料
敷田座長	コンテンツの「保護の取り組み」のところは「地域での取り組み」に変えたほうがいいですね。実際に取り組んでいる地域の皆さんを紹介してもらえればと思います。
事務局	メッセージコーナーがあって関係者の皆さんの声、昔のウトロの様子など、写真と共にメッセージとして関係者の声を紹介させていただきたい。
環境省	・動画コンテンツ制作について ・広報用素材(映像・写真等)についての提供のお願いについて
敷田座長	動画コンテンツの作成ですが、皆さんに登場してもらいたいと思います。生の声は迫力があるので取材をぜひ受けて頂ければと思います。
敷田座長	私見として環境省が作ったとわかるタイトルなのでそれはやめてもらいたい。Youtubeに上げるのであれば、もっと柔らかいタイトルがいいと思います。中身は真面目でいいですが検索に引っかかりやすいものを是非。若い方のアイデアをお願いしたい。
2-5.その他	
環境省	・ケイマフリデコイを使用した広報PRについて ・海鳥出前講座について
3.その他	
小城委員	最近出た「オホーツク生態系保全日露協力シンポジウム報告書」には、たくさんネタが詰まっている。今日の話では海鳥のことは話したが海の素晴らしさが伝わってこない。オホーツク海は世界でもまれに見る魚類生産型の海域です。オホーツクとアラスカのベニザケの違い、オホーツクと太平洋のサンマの違い、カラフトマス卵の美味しさなど面白い話もあります。こういう話を報告書から抜きだして出前講座でやれば大変よいと思います。
敷田座長	小城先生の話が一番わかりやすく面白いのでインタビューを3分間3本立てくらいで作れませんか？またそれが参考になって他の人も話しやすくなるのでは。
観光船	今年からガイドを始めたばかりの者ですがおすすめの本などはありますか？鳥のことは全く知らないので提示してもらえると助かります。
観光船	絵で見るより飛んでいる動画を準備してもらえると助かるのですが。
観光船	この前一度博物館に行きました。詳しいことまでわからなかったですが、皆さんがオジロワシでは無く、なぜケイマフリをアピールしているのか今回非常に勉強になりました。
敷田座長	こうしてみるとまだまだ意見交換ができそうですね。これが終わった後も引き続き会があると思いますのでよろしく願います。みなさんご協力ありがとうございました。
閉会	
環境省	今日の議事は全て終わりました。今年は3ヵ年事業のまとめの年です。今年中にできることをたくさんやっていきたいと思っておりますので、ご提案して頂いた内容と一緒にできることを協力して頂ければと思っておりますので今後ともよろしく願います。今日はどうもありがとうございました。